

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑥上下水道	⑦	下水道施設の機能維持・向上

事業名	ポンプ場更新事業	担当課名	下水道課
-----	----------	------	------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
災害に強いポンプ施設の整備を行い、排水区域の雨水を速やかに排水して浸水の災害を防除し、市民の財産と生命を守り快適な生活環境を確保する。
(事業概要等)
(小松雨水ポンプ場) ポンプ棟及び沈砂池の耐震化、老朽化した雨水ポンプ設備及び沈砂池設備等を更新する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	235,452	183,422	708,230	427,301	
うち市負担分(千円)	118,952	95,272	362,180	240,313	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
進捗率(小松雨水ポンプ場)	%	—	6	31	46
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)	小松雨水ポンプ場において、ポンプ棟の耐震化及び雨水ポンプ設備1台の更新を行った。				

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	業務の一部を専門的な知見を持つ事業者に委託することにより技術力の向上を図るとともに業務効率を図っている。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	限られた予算の中で管渠整備(下水道施設の更新)を進めているため、毎年度における工事量の平準化や財源の確保が課題となっている。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 小松雨水ポンプ場の老朽化した雨水ポンプ設備等を計画的に更新することにより、施設が健全な状態を維持することができたため。
	改革・改善策等の具体的内容	特記事項なし

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑥上下水道	④ ⑤	公共下水道の汚水整備推進 公共下水道の雨水整備推進

事業名	管渠事業(北部処理区 整備事業)	担当課名	下水道課
-----	------------------	------	------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
汚水整備については、良好な都市環境の整備と公共用水域の水質保全を目指すため、また、雨水整備については、浸水防除による生活環境の整備向上を図るため、北部処理区における整備を計画的かつ効率的に推進する。
(事業概要等)
汚水整備については、市域の約97%が整備済みであり、未整備箇所については順次住民要望等に対応しながら整備を行う。また、雨水整備については、夕凧町地内での整備を中心に行う。

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	236,813	680,093	337,095	1,313,611	
うち市負担分(千円)	130,414	69,274	88,152	514,089	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
(汚水人口普及率)=(整備人口)/(行政人口)	%	97.1	97.1	97.3	97.3
(雨水整備普及率)=(整備面積)/(認可面積)	%	37.4	38.1	38.3	39.4
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
汚水 L=451m、雨水 L=105mの整備を行った。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	業務の一部を専門的な知見を持つ事業者に委託することにより技術力の向上を図るとともに業務効率を図っている。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	限られた予算の中で管渠整備(下水道施設の更新)を進めているため、毎年度における工事量の平準化や財源の確保が課題となっている。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市民生活に直結した重要な都市基盤整備であり、未普及地区の解消に向けて整備を進めるため。
改革・改善策等の具体的内容	特記事項なし	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	⑥上下水道	⑥	水洗化の普及促進

事業名	水洗便所普及事業	担当課名	下水道課
-----	----------	------	------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
処理区域内の未水洗化世帯に対し水洗化への早期改造に向けた啓発指導。 水洗化の実施により衛生的・文化的な市民生活と、河川・海などの公共水域の水質保全、自然環境保全に努める。また、適正な水洗化工事の実施と事業所管理のため、排水設備工事の確認・検査を行うと共に、排水設備業者の指定登録制度を定める。
(事業概要等)
処理区域内の未水洗化世帯訪問調査及び実態の把握。 未水洗化世帯への水洗化改造実施の指導。 水洗化普及促進のための助成金交付及び資金貸付。 排水設備工事の確認及び竣工検査。 排水設備業者への登録等の取扱事務。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,310	3,130	3,298	4,855	
うち市負担分(千円)	3,310	3,130	3,298	4,855	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
水洗化率	%	90.2	90.6	90.7	90.7
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
水洗化について水洗化率は90%を超え、顕著な伸び率は想定していないが、年々微増しており、一定の目的は達成している。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	水洗化促進のため、H27年度より下水道整備の浅い地域の未水洗世帯を訪問し状況調査及びアンケートを実施してきた。R4年度から、対象地域を今まで訪問したことがない未実施地域を対象とし個々の住宅を回り実際の声を聞き、改善点としてアンケート調査を実施した。また、改善点としてアンケート内容を厳選しレイアウトを大きく改め、見やすく回答しやすい内容とした。
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	令和4年度末において、水洗化が可能な人口に対する水洗化率が90.7%と微増傾向にあるが、未水洗化の世帯のうち高齢化世帯が多く、新たな切替工事の必要性を感じていない。また、借家の場合は、所有者である大家の意向や費用対効果などの観点から水洗化が促進していない状況にある。
---------------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) これまでの未水洗化世帯に対する啓発活動等により、整備区域の水洗化に繋がっている。今後、将来人口の減少が予測されるため、水洗化促進事業の継続により下水道の有収使用料の確保に向け健全経営に繋がることが期待できるため。
	改革・改善 策等の具 体的内容	